

5月臨時会

令和2年第1回臨時会が5月11日に開かれた。

1件の専決処分の報告を受け、8件の専決処分の承認について、全て承認した。条例改正等6件の議案について提案説明を受け審議し、全て原案の通り可決した。また固定資産評価員の選任についての人事案件に同意した。

議会休会中に長澤前議長の辞職届を受領し、吉田前副議長が議長となり、副議長に北倉議員が就任した。その後、各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の選任と正副委員長の選任をおこなった。

※ 各委員会構成は4P参照

臨時会の主な(総括)質疑内容

問 専決処分の承認について(令和元年度養老町立食肉事業センター補正予算)

答 大陸で流行っている豚熱の現状は。

問 アフリカ豚熱に關しては、ワクチンがまだ開発されていないため、国では水際戦略として、持ち込ませないことを徹底している。

問 令和2年度一般会計補正予算

答 自然災害による避難所開設の際、コロナ感染を防ぐための体制づくりの見解は。

問 県のガイドライン(案)を参考にしつつ、当町の避難所運営マニュアルについても感染症対策の内容を盛り込

問 特別定額給付金の対象者2万8399人の日本人と外国人の内訳は。

答 基準日である4月27日の住民基本台帳の人口は、日本人が2万7716人、外国人が633人であり、基準日翌日以降の登録者数等を50人見込んでいます。

問 庁舎管理のコロナ対策として、委託費62万円程の内容は。

答 庁舎の消毒作業として、保健所の指導内容にもよるが、廊下、階段、エレベーター及び事務室のワンフロアの半分相当を想定して概算で予算計上した。

6月定例会

令和2年第2回定例会が6月5日から17日までの13日間の会期で開かれた。

初日(5日)は、令和元年度養老町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告及び専決処分を承認した。4議案の提案説明があり、令和2年度養老町一般会計補正予算は所管ごとに各常任委員会に付託した。条例の一部改正等3議案については総務民生委員会に、水道事業会計決算の認定については産業建設委員会に付託した。また、物件供給契約の締結について可決し、19名の農業委員会委員の任命について全て同意した。

2日目(16日)は、議員6名が一般質問を行った。

最終日(17日)は、総務民生委員長及び産業建設委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告後、採決を行い、条例の一部改正や令和2年度一般会計補正予算など5議案について、すべて原案のとおり可決された。

定例会の主な(総括)質疑内容

問 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

答 家庭的保育事業者に該当する町内の施設は。

問 家庭的保育事業者に該当する町内の施設は。

答 現在、養老町に該当する施設は無い。

問 農業委員会委員の選任同意

答 平成28年4月1日より改正法が施行されているが、この3年間の総括は。

問 現行の農業委員会において、議案審議や農地パトロールなどの地域活動においても支障があったという報告は受けておらず、総合的に問題は無かったと評価をしている。

新議長あいさつ



副議長 北倉 義博



議長 吉田 太郎

令和2年度の養老町議会議長に、また、西南濃町村議会議長の会長、県町村議会議長の副会長に就任させていただきました。この重責を肝に命じ、副議長とともに職務を誠意努力したいと思います。

今年は全世界で新型コロナウイルス感染が拡大し、感染予防のために、手洗い、換気、三密回避などの「新しい生活様式」の実践など色々な課題があります。

養老町の課題でもある、企業誘致、雇用促進や少子化対策など多くの課題があります。このような様々な諸問題に、行政と議会が一体となり、安心・安全で住みよい町づくりに寄与し、取り組んで参ります。皆様の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

問 仕様書の記載内容。

答 消防用車両トラックとして、パワーゲート等を設置した特殊車両となっている。

問 令和2年度一般会計補正予算

答 児童・生徒用のタブレット購入費の財源については、国が1台あたり4万5000円の定額を示しているため、それを上回る部分については町の一般財源で対応する。また、学校ネットワーク環境の整備委託金と地方債、一般財源となっている。

問 高齢者施設での新型コロナウイルス感染症対策について、町長の考えは。

答 各介護施設、医療機関には、衛生面においての各資機材をしっかりと届けられるよううにしていきたい。介護施設に対する調査では、約半数がタブレット等による面接の実施を考えているとの回答があり、こういった意見をしっかりと受け止めながら、皆様と協働のまちづくりを進めていきたい。

